



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』

1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』

1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会

12月12日／第539回例会

□忘年家族会

16:20～

16:30～17:20

17:30～18:50

18:50～20:00

登録開始

チャリティバザー

例会・ディナー

家族会

♪友納あけみシャンソンのタベ♪

シャンソン歌手 友納あけみ氏

♪プログラム♪

聞かせてよ愛の言葉を

再会

100万本のバラ

愛の賛歌

#

♭

他

◎先週報告

12月5日／第538回例会

□年次総会／次年度（98～99年度）理事・役員決定

クラブ細則第4条第1節により、当クラブ年次総会（12月5日例会）において、次年度（98～99年度）理事・役員の選挙を行い、次の8名の候補者を以て当選者に決めました。
会長ノミニ（役員）：渡部一元、副会長（役員）：小澁雅亮、幹事（役員）：大日方真
会計（役員）：横山秀明、理事：宮本正祥・後藤信夫・西澤正雄・小原 健（敬称略）

□次年度（98～99年度）SAA決定

クラブ細則第1条第3節により、宮武保義次期会長、前記選出された次年度理事・役員及び武下朗会長は、12月5日例会後次年度理事会を開催して次年度（98～99年度）SAAに島田昌雄君を選出しました。

□幹事報告 RI 2750地区R情報セミナーのご案内

当地区入会3年未満の会員の方々を対象とした地区R情報セミナーが、来る98年1月26日（月）に開催されます。前回（97年1月）ご欠席された会員の方、それ以後ご入会の方には本日ご案内をさせて頂きました。是非ご出席下さいますようお願い申し上げます。

□雑誌委員会報告（青野委員長）『ロータリーの友』12月号読み所紹介

『ロータリーの心を生かす』（横組6頁）には、今年度のRIのテーマを各クラブではどのように受け止め、どのように実践しているのか、各クラブ会長の意見が掲載されています。

□社会奉仕委員会（吉田委員長）

12月12日忘年家族会でのチャリティバザーには港区の私的福祉施設で作ったクッキーやクリスマス用のキャンドル等が各々セットになって販売されます。当日の購入協力よろしくをお願いします。

□慶事披露

●お誕生日祝／鈴木重徳君（12月4日） ●100%出席／齊藤茂之君（20年）

□出席報告

●会員74名／出席59名・欠席15名

ビクター（7名 敬称略・順不同）／KIYOSHI MISOI（New York）、JENS PEDEV JENSEN（Amager）、中山悦憲（東京恵比寿）、伊藤博康（東京杉並）、田村達也（東京日本橋）、中島 武（東京日本橋西）、矢橋信雄（東京南）



12月5日／10件 31,000 円
97～98年度累計1,055,432円
多額のご寄付を有難うございます。
（順不同、敬称略）

齊藤茂之／20周年の記念品をいただきまして有難うございます。心から御礼申し上げます。
鍋島晴夫／保森さん楽しい一タをありがとうございました。宮本正祥／本日早退しますので。
渡邊治／お誕生祝いありがとうございました。小澁雅亮／寒くなりました。馬場一廣／寒くなりました。年末を迎え風邪などひかれませんように。吉岡琢磨／二宮さん、ニコニコ担当ご苦労様です。又先日お世話になりました。平井逸夫／二宮さんの前をすどおりできませんので。小杉修造／イニシエーション・スピーチお耳を拝借します。二宮利泰／皆様ニコニコ御協力有難うございました。

他クラブ例会変更のお知らせ

東京日本橋RC →12/9(火)年末家族会
東京日本橋西RC →12/10(水)クリスマス家族会
東京城西RC →12/10(水)クリスマス家族会
東京成城新RC →12/11(木)家族忘年会
東京五反田RC →12/15(月)忘年夜間例会
東京新橋RC →12/16(火)家族懇親会
東京みなとRC →12/16(火)忘年家族会

東京西南RC →12/16(火)クリスマス家族会
東京芝RC →12/17(水)忘年家族会
東京シティ日本橋RC →12/19(金)年末家族会
東京日本橋東RC →12/22(月)年末家族会
東京中央RC 12/18(木) →22(月)クリスマス家族パーティー
東京西RC 12/26(金) →22(月)クリスマス家族会

◎次週予告

12月19日第540回例会

□第6回クラブセミナー

「1998年規定審議会について」

ロータリー情報委員 渡邊 治 君

回卓話 イニシエーション スピーチ

12月5日第538回例会

「映画と音楽とマイ・プロフェッション」

当クラブ会員

㈱近代映画社代表取締役社長 小杉 修造

私の自己紹介を通して、40年におよぶ芸能マスコミ生活の一端を披露したいと思います。

慶応大学に在学中から、冬休み、夏の休暇どきを父親の経営する出版社近代映画社でアルバイトをしていました。昭和の30年前後で、会社の業績もかんばしくなく、父親の会社だけでは入りたくない……。新聞、出版社に顔のきく親友の父親をたよって、就職活動をしていました。そんな私の行動がバレて、『お前はうちの会社に入るんだ』のひと言で、私の就職希望はおじゃん。

終戦直後の昭和20年12月に近代映画社は創業、映画雑誌「近代映画」「スクリーン」を出版したのがスタート。今年で創業52年になります。大学卒業と同時に昭和32年4月に入社。

当時は映画は娯楽の王様、どんな作品でも作れば大ヒット、また外国からの輸入映画も満員御礼の時代でした。それだけに映画雑誌の種類も多く、10誌はあったと思います。

競争ライバル誌ばかりで、雑誌の発行部数は5万部から7万部といったところでした。

月刊誌の部数を補てんするために、スターの特集号や臨時増刊を出版するようになったのです。近代映画社が再生のきっかけになったのが、松竹映画「君の名は」の特集号でした。私は近代映画の編集部のかげ出し記者から始まりました。

映画界、特に邦画界は昭和33年の年間入場観客数12億強をピークに、年々5億、3億と減っていきました。28年にNHKがテレビ放送を開始、続いて民放各局が新しいメディアとして登場したのです。テレビ芸能時代の幕開けです。月刊「近代映画」の取材ターゲットは映画スターから、テレビタレントへ、そして歌謡界へと伸びていきました。「近代映画」「スクリーン」誌においては、映画が斜陽になって発行部数がいちじるしく伸びた、と云うのもおかしな現象です。

昭和34年、35年の2年間、「スクリーン」の特派記者として、米国ハリウッドに行きました。実は私が近代映画へ入る条件として、社長である父親に近い将来、ハリウッド行きを約束しておいたからです。東京にある洋画配給会社の紹介状を持って、単身ロス郊外にあるハリウッドへ。

間もなく外人記者協会のメンバーに入れてもらい、スクリーンの主役たちや監督さんにインタビューをして、記事を東京へ送る……。1ドルが360円時代で、勿論、海外渡航が自由化されていません。有名、無名（日本では知られてない）の俳優さんに2年間に一体何人会ったのでしょうか……。

エルビス・プレスリーは「G・Iブルース」の撮影中で気持ちよく取材に応じてくれました。20世紀フォックス・スタジオで、ソフィア・ローレン、アン・マグレットそしてケーリー・グラントetc.

また、パラマウント映画（最も古い映画会社）の創立者の孫に当るエドルフ・ゾーカー氏にはいろいろと取材でも便宜を計ってもらいました。私の方も、日本の置物、扇子、掛け軸など、和風の調度をいろいろとアドバイスさせてもらいました。その頃は日本ブームの走りだったのでしょうか、映画のシーンの中に出てくるナントも奇妙な置物などに気になりませんでしたか？その責任の一端は私だったかも知れません。取材の合間には映画のスチールをもらっては、編集部に送るという作業でした。

私が東京へ戻る頃になって、『Mr. コスギの仕事をやらせてくれ……』と云ってきたのが、ギリシャからの記者、Mrヤニ・ベガキスでした。帰国してしばらくすると、今まで以上の取材資料が編集部へ送られて来て、私は一体なにをしていたのか……？

現在でもベガキスからはホットな情報がとどいて、やがて40年の月日がたちます。その後、月刊「近代映画」の編集長のかわら、**「ジ・アニメ」「エルティーン」「EIGA・NO・TOMO」**等の創刊編集長を務めました。

昭和50年から61年まで、日本レコード大賞の審査委員をはじめ、歌謡大賞、銀座音楽祭、文化放送音楽祭、朝日放送音楽祭などの審査員を務めさせてもらいました。お陰さまで歌謡界の裏と表をまの当り体験致しました。歌謡界の全盛時代で、都はるみの「北の宿」、八代亜紀の「雨の慕情」、ジュディ・オングの「魅せられて」などが、それぞれの大賞を獲得した頃です。また、山口百恵、松田聖子、南沙織、浅田美代子、小泉今日子などがキラ

星の如く誕生した時代でした。’75年には「スクリーン」がヴェニス映画祭の映画雑誌コンテストでナンバーワンの榮譽、サンマルコ獅子賞を受賞しました。

本年は書籍では「失楽園」のブームで、久々に文芸書が上位にランクされました。このところ、週刊誌が低迷していますが、ダイアナ妃の交通事故死などで、婦人週刊誌がひととき部数を回復したと云われます。ゴルフ誌はタイガーウッズ人気で、期待したのですが、部数増にはつながらなかったようです。本年は婦人誌の創刊が目立っていますが、雑誌界も女性上位です。

家族は女房、子供3人、孫2人。私の趣味は観劇（ミュージカル、歌舞伎など）、音楽はクラシックからロックまで、ピアノは遊んで楽しむ、写真そしてゴルフ（ハンデ20）。毎年、海外旅行を一回ないし二回、リフレッシュにつとめています。

回12月火曜会報告

本年度第6回の火曜会が12月2日全日空ホテル37階アストラルで開催されました。師走に入り慌ただしさの中で、初参加の新会員3名と事務局の山中さんも加わり、総勢24名が参加。ライトアップされた東京タワーをバックにビールを酌み交わす。カクテルタイムを楽しんだところで、パネラーとして川鍋二郎会員より「十人十色のクラブライフと親睦活動委員会」と題してお話を頂いた。

川鍋委員が当クラブに入会するにあたっての思い、また委員会活動では特に週報委員会と親睦活動委員会の苦労話を色々なエピソードを交えて話され、それにより会員同士と大変親しい関係を得ることができたことや、これからのロータリーについて、ご自身のロータリー観やクラブライフの思いを述べられ、最後にI LOVE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTHで締めくくられた。盛会の火曜会となり川鍋さん、有り難うございました。（高須 記）

参加者／小原（渉）、村山、水原、相澤、四分一、石東、伊部、圓谷、佐藤、吉岡、梶内、関、武下、大山、村川、新保、河原、川鍋、宮武、宮本、渡部、荒木、高須、山中（事務局）／以上24名（敬称略・順不同）

12月定例理事会議事録

と き 97年12月5日（金）例会後 13:50～15:10

ところ 東京全日空ホテル 1F 孔雀の間

出席者 武下、宮武、高須、関、山下、吉田、梶内、吉岡、河原、田辺、渡部（順不同・敬称略）

決議事項

1. 退会希望の件／杉山好一郎君
海外移住のため、同君の退会を97年12月12日付けで承認。
2. 出席免除規定適用の件／齊藤茂之君
クラブ定款第7条第3節（b）シニアアクティブ会員（i）により、97年12月12日より同君の出席規定を免除することを承認。
3. 第4回クラブ協議会（1／30）のテーマ「村野ガバナーノミニ」を迎えて、R情報・社会奉仕・国際奉仕委員会活動について」とすることを承認。
4. 1～2月プログラムを承認。
5. ロースター制作を承認。
6. 新会員歓迎会を98年1月20日（火）に開催することを承認。
7. 例会用「ロータリーソング」「四つのテスト」パネルの作り替え、例会用備品保管ロッカーの購入を承認。

報告事項

1. 会長報告
①次年度地区組織／リーダーシップ・プランの推進の件
②レイシーRI会長エレクト来日（98年1月）の件
2. 幹事報告
①千代田分区分IMアンケート／54通（回収率73％）
②地区R情報セミナー（入会3年未満を対象）開催（1／26）
3. 会計報告
4. 国際奉仕委員会報告
P.H.F（すえおきクレジット\$100との組み合わせ）：
小杉眞史・小杉修造・牧野吉郎・村山公士会員
ベネファクター：岩瀬秀郎・小原健会員
5. 社会奉仕委員会報告
①10周年記念事業「ボランティア団体助成事業」／本年度助成5団体決定（11／17）、贈呈式（12／12忘年家族会）
②港区社会福祉協議会ボランティアセンター10周年「記念誌」へ掲載用メッセージ募集の件

東京新南ロータリークラブ

会長：武下 朗 副会長：山下忠治 幹事：渡部一元

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 眞史、川鍋 二郎、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士
（編集担当順）